

北久原

公民館だより 夏増刊号

明見湖の蓮の花

第191号

悪魔を払ってヨイトコナア！
北久原区の伝統芸能「湯立神楽」
大きな釜の中で煮えたぎる熱湯！この湯を浴びると無病息災で過ごすことが出来る
来ると言い伝えられている「湯立神楽」が七月二十二日に行われました。



剣の舞を舞う正法官小室翔さん

北久原区の湯立神楽

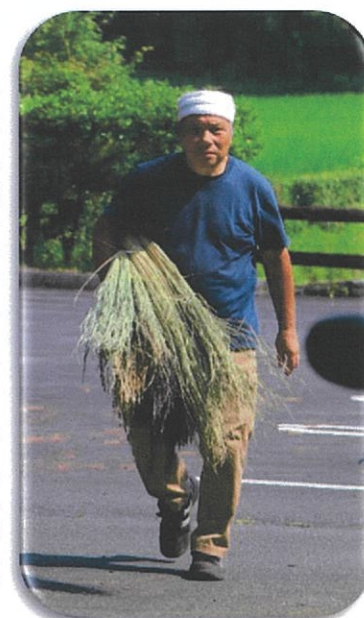
北久原区では、その昔、疫病の蔓延によって多くの区民が苦しめられた時期がありました。何とかこの疫病を鎮めようと東山区さんをお願いして、神楽を教えていただきました。この伝統芸能が北久原神楽保存会の皆さんと北久原青年団の皆さんによって守り続けられています。

神楽の伝承だけではない！

神楽の準備は、その年に使用する薦（こも）などの製作から始まります。現在ほとんど使われなくなってしまう筵（むしろ）を編む器材を、大切に保管して下さっているお宅からお借りして、青年団の皆さんが「剣の舞」の時に使用する薦を編みます。



また、神楽保存会の会員の中で「草鞋（わらじ）」を作る事が出来る方がいます。その方の技術を真似ながら湯釜を支える部分に使う「馬脚」を作る作業に取り掛かりますが、その為にはまず細い縄を編みます。縄を叩いて柔らかくした後、足の指に挟んで、編んでいきます。こうして、神楽の舞の



この「薦作り」のためにわざわざ丈の長い稲を育てて稲藁を提供して下さる神楽保存会の会員もいます。



こちらでは「湯棚」と呼ばれている神具を置いておく棚を、細い竹を使用して編んでいます。こうして神楽保存会の皆さんは、当日の伴奏や裏方作業だけでなく、神楽を実施するための様々な準備に貢献して下さいます。



技だけでなく、モノ作りの技術、伝統を守り受け継ぐ心も継承されていきます。

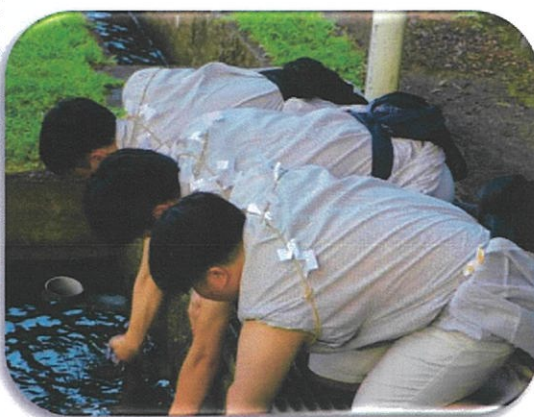
青年団員の長い一日！

北久原青年団の団員は村田大地団長以下現在六名。七月二十三日の日は、午前中に境内を清掃したり、注連縄（しめなわ）をはりめぐらしたりして、会場の準備を整えました。午後また集合し、まず正法官と補助官で、会場を浄めます。これを「一切成就之祓」といいます。



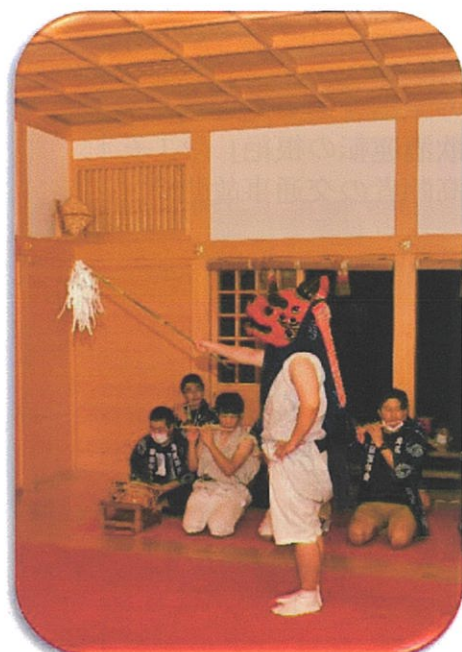
今年の正法官は下合組の小室翔さん。補助官は同じく下合組の高村侑矢さんが務めました。この後神殿内で剣の舞を奉納したのが、入団二年目で法官を担当した八幡通り組の齋藤昌輝さんでした。

境内を浄めた後は、自分たちの穢れを洗い流すために「禊（みそぎ）」を行います。



神社横の清流で呪文を唱えながら身を浄めました。その後、神殿内に籠って三名で「五祓」の儀式を行います。

夜七時になると、いよいよ本番！まず神殿内で「神楽の舞」を奉納します。



神殿内の儀式が終わると、見物客の皆さんに恒例のお赤飯を配り、子供達にはさらに花火のセットをプレゼントしました。



続いて正法官が神社境内で神楽を舞い、最後に湯釜で冷ました熱湯を見物客に振り掛け、青年団の皆さんの長い一日が終了しました。



7月30日

サマーフェスティバル代替行事

区の地域づくり活動推進委員会の皆さんは、台風やコロナのために中止を余儀なくされていたサマーフェスティバルを、今年こそ開催しようと準備を進めてきました。しかし、オミクロンBA5の急速な蔓延拡大のために、涙を吞んで開催中止を決断しました。ただ、楽しみにしていた子供たちのために、用意していた「光る玩具」「アニマルバルーン」「ヨーヨー」「花火」などをプレゼントする機会を設けました。付き添って来てくださった大人にも飲み物やティッシュペーパーが手渡されました。



横通りにある防災倉庫 ⇒



集会所の座敷で古文書を点検



8月7日

古文書虫干し

区では年二回、防災倉庫の中に保管している古文書の点検を行っています。古文書に風を通し、防虫剤を新しいものに交換して、大切に保管しているのです。今年の春は、実施日に小雨が降ってしまったため、薬剤の交換だけ行って、文書を取り出して並べ、確認する作業は出来ませんでした。

現在文書を保管している書庫は、狭い階段を登った二階部分にあり、重い文書箱を出し入れするのは大変な作業です。役員の皆さん、お疲れさまでした。



浅間神社境内



公民館花壇

8月7日

風祭

秋の収穫前に大風が吹くのを恐れ、風を鎮め、豊作を祈るための「風祭」の神事が行なわれました。この日は当番である下合組の皆さんが、朝から神社境内の草刈り・清掃作業を行って下さいました。また下合組は戸数が多いため、二手に分かれて公民館敷地内の花壇の除草も行ってくれました。運悪くアシナガバチに手の甲を刺されてしまった方がいましたが、大事にいたらずに済んだのでしょうか。



7月18日

花の会除草作業

近づくサマーフェスティバルに向けて、花の会の皆さんが会場となる公民館の花壇などの除草作業を行って下さいました。しかし、中止となり残念でした。

7月13日～

夏の全国交通安全運動

「飲酒運転の根絶」や「子供と高齢者の交通事故防止」などを重点目標として、夏の全国交通安全運動が13日から22日まで繰り広げられました。

区内では、2か所で交通安全協会御殿場地区支部北久原班の皆さんがのぼり旗などを持って、早朝の交差点に立ち、子供たちの登校を見守って下さいました。

7月24日

夏祈禱

以前は、青年団と青年団OBの皆さんが各戸を訪問して神棚の前で神楽を舞ってくれていました。現在は、コロナなどの影響もあり、区内4か所の会場に区民の皆さんに集ってもらい、夏祈禱を行っています。舞いの終わった後、獅子に肩と頭のあたりをパクパクしてもらいますが、昔、我が家の娘たちも怖くて泣きじゃくっていたのを思い出しました。



いきいきサロン

七月 ビンゴゲーム&塗り絵



七月の「いきいきサロン」では、いつものように全員で「ラジオ体操第一」を行って体を動かした後、ずっと続けている宮沢賢治の詩「雨にも負けず」の暗唱にチャレンジしました。少し長い詩ですので、全部を暗唱している人はほとんどいません。しかし中には高校時代に学んだこの詩が大好きで、ほぼ暗唱できるメンバーもいます。その後はビンゴゲーム。いつものことながら、「リーチ」までは到達するのに、なかなか「ビンゴ」とならずヤキモキしてしまっています。その後、「塗り絵」に取り組みしました。今年の報徳文化祭が無事に開催されて、出品できるというのですが・・・。

八月は、毎年ご指導していただいている杉崎紀子先生をお招きして、「健康体操」に取り組みしました。ほとんどが座ったままで出来る体操でしたが、先生の指導の通りに身体を動かすと、普段あまり動かしなかった筋肉が悲鳴を上げて、筋がぴーんと伸び、効果抜群でした。よろめかないで済む「立ち上がり方」も教えていただきました。また、頭も使う動作が多かったので、ボケ防止にも役に立ったと思います。

ちよつと蒸し暑い午後でしたので、熱中症を心配しましたが、皆さんお元気で最後まで頑張ってくれました。お疲れさまでした。

八月 健康体操

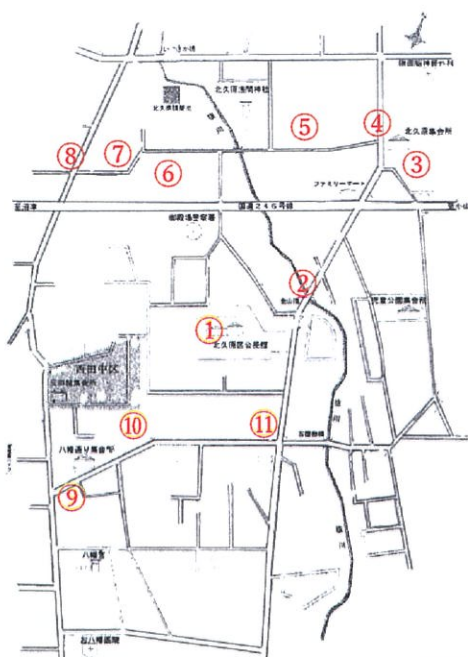


北久原ウォーキング道祖神コース No.2

春号の「逆さ富士コース」を実際に歩いて下さった方はいらつしやったのでしょうか。さて今回はシリーズ第二弾！「道祖神コース」と銘打って、区内を巡るウォーキングコースを紹介したいと思います。

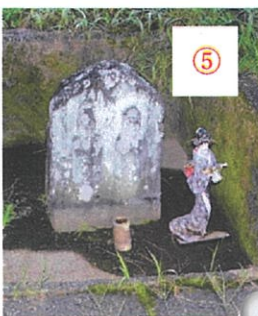
今回もスタート地点は北久原公民館として紹介しますが、どこからでも構いません。区内をほぼ一周して、昔から居住している方は、ふるりの再確認、新しく北久原区民となられた方々は、北久原区の全体像を掴んでいただけたらと思います。それではスタート！

①の北久原区公民館を出発して地図では上、富士山に向かって歩きましょう。②の金山橋は現在工事中ですので迂回路を進みます。国道二四六号を横断してさらに進むと食事処の看板が見えてきますが、その少し手前、石垣の上に最初の道祖神が見つかると思います。この③にあるのが「中組」の道祖神です。昔は他の所に建てられていたのだと思いますが、道路拡張か何かで現在の地に祀られたのではないのでしょうか。中組道祖神からもう少し西に進むと二宮



金次郎の像などがある北久原集会所があります。現在の公民館が完成するまでは、この集会所が区の公民館でした。この④地点が三叉路になっていますので、左折して南の方向に進みます。すると北久原浅間神社の手前、⑤の所に横通り組の道祖神が見つかると思います。誰が置いたのか日本人形が道祖神の横に並んでいました。

続いてそのまま神社の前を通り過ぎて進むとクランク型に道路がカーブしている地点があります。この⑥の地点には六地藏が立っています。そしてそのすぐ先、⑦の地点に神合組の道祖神が見つかりますか？



⑧の地点は四つ角です。この地点は元旦マラソンの絶好の撮影ポイント。富士山を背景に、全力で走ってくる選手の姿を撮影できます。この⑧で左折して東に向かって進みます。国道をくぐり、お隣西田中区反田組の皆さんがゲートボールを楽しむ広場の横を通り抜け、土矢倉というバス停があった三差路⑨で左折します。

八幡通り集会所の前を北に向かって進むと⑩に北久原花の会の皆さんが整備している花壇があります。その前を通り過ぎて、下合の四つ角⑪に下合組の道祖神があります。この四つ角を左折するとゴールです。



上組や八幡通り組にも道祖神があったのではと思うのですが、ご存じの方は情報をお寄せください。

道祖神は村境などに置かれて、外部から侵入する邪霊・疫神などをさえぎり、村を守ってくれる存在でした。仲睦まじいような男女二体の像を刻んだ双体道祖神は、中部地方に特に多く見られるそうです。

万歩計約三千五百歩 所要時間約四十分



こまった時には「ほうかつ」へ相談

御殿場市地域包括支援センター
御殿場十字の園

☎84-5950

こんにちはは包括支援センターです

「認知症について学びましょう」

アルツハイマーデーをご存じでしょうか？一九九四年「国際アルツハイマー病協会」と「世界保健機構」が共同で九月二十一日をアルツハイマーデーと制定し、認知症の啓発を実施しています。

御殿場市では九月一日から一カ月間、市立図書館と市役所にて、認知症の理解促進のためのブースを設置しています。御殿場図書館では、認知症に関する書籍を、認知症地域支援推進員のコメントで紹介しています。この期間に認知症について学んでいただき、認知症になっても住み慣れた地域で生活が続けられるよう、本人や家族だけでなく周囲の人も認知症について学び、良い環境をつくっていきましょう。

北久原を住みよい街に

特定検診で毎年「肥満気味」と判定されます。なんとか標準の体系にと、毎朝、日の出頃にウォーキングに出掛けています。夏とはいえ、早朝の空気は爽やかで気分よくスタートするのですが、途中でどこどころか気になる所を見掛けます。

それは敷地内の庭木などが枝を伸ばし、道路にはみ出している部分です。こういう所にはよくゴミが投げ捨てられています。やはり平気でゴミを投げ捨てる人間にも、多少のやさしい気持ちがあるのでしょうか、人目につきにくい場所を選んで捨てていくような気がします。が、もつと気になるのは、登下校する生徒が枝を避けるために、白線部分から中央よりに、はみ出して歩かざるを得ないことです。二学期が始まって子供たちが元気に通学しています。安全に登下校できるようにちよつと家の周囲を見渡していただけませんか。

そういえば、ある時、ご自宅以外の、聞くところによると、病気療養中で現在ご不在のお宅の、庭木を剪定して下さっている方をお見掛けしました。ご親族か、ご友人のお宅だったのかもしれませんが、ありがたいことです。また早朝に、警察署近くのちよつとしたスペースの除草作業を行って

下さっている方もお見掛けしました。その方が種を蒔いて下さったのか、オシロイバナが咲くようになりました。区民の皆さんのちよつとした心配りで北久原区が住みよい街になっていくと思います。



編集後記

夏号の題字の部分の写真は「月下美人」の花でした。サボテンの仲間で濃厚な香りが特徴的ですが、夕方頃から咲き始めて翌朝には萎んでしまいます。まさに美人薄命を象徴する花です。中組にお住まいの方から、開花したとの連絡を受けて撮影させていただきました。

増刊号では富士吉田市にある「明見湖」という池に咲く蓮の花を撮影に行きました。蓮は涼しさの象徴であると同時に清浄さの象徴でもあります。仏像は蓮華座の上に乗っています。お釈迦様は「蓮の生き方に人としての生き方を学びなさい。」とおっしゃられたとか。とにかく美しく魅力的な花ですね。

(伊藤 記)